夕刊
五月二十七日發行
日曜祭日翌日休刊
發行所 磐城新聞社

松村英一氏 歡迎歌會詠草

○青麥の畑の上暮れて遠蛙一つなくなる聲かそかなり　松村英一
○遠くきて春の夕へも暮れ入りぬこゝは磐城の小名浜の宿　同
○暮れてゆくしばしのほどの粢付はなやましきまで靜かなるかも　小山田滋
○筍の子も竹となりゆくをもしろさ昨日も今日も春嵐吹く　同
○しやくやくの蕾ほころぶ宵闇のなまめかしさをわがものにして　同
○麥の穂の出揃ふ畑はしづかにて海なりの音今日は聞えず　高見楢吉
○電柱の灯にあをあをと庭松ののびたる枝が照りいでゝ見ゆ　同
○あは〳〵と忘れなの花庭に咲く君が家居に今宵ねむ　大槻米子
○子ひばりが麥穂の間に遊びゐしがわが足音に飛び立ちにけり　渡邊濟子
○この夕べ師をとりまきてくみ交す麥穂の畑のけぶる湯宿に　同
○波立てる底ひに泳ぐくろ〴〵の愛しき中赤はね上りたり　高木愛二
○夕されば魚沈みたる池の面客が捨てたる塵あまたうく　同
○命あまた人に借りつぎながらはひに魂は入れねど漁なしといふ　同
○雜談のふとときれたるときの間を自動車の警笛高鳴りて過ぐ　小濱牧泉
○房總の旅にゆかねばならぬ吾今日來し師をばこゝにのこしつ　佐川和弘

大佛開眼について

○△生

皇紀二千六百年奉祝藝能祭に新協劇團は長田秀雄氏作「大佛開眼」を以て參加した。奈良時代政教一致の方針に沿ふて總國分寺たる、東大寺に大佛を建立される事になつた。その經緯が「大佛開眼」の劇となつたのである。大佛は日本古代文明の集約されたる金字塔であり、全國民信仰のシンボルである。大佛鑄造は大事業であつて二度も挫折して居る。最初の大佛師眞玉は造營中の大佛を笠置の蝦夷どもに形も止めぬ迄に打ちこわさせ、一人娘の菊太郎女を殺して自殺してしまつた。そのあとを引受けた[illegible]は[illegible]才幹な佛師國中公麻呂であつた。彼れは眞玉の企畫を毀し、立像を座像の姿に改め、面相も經文に說かれたものにこだわらず、日本人の姿を鑄造しやうとした。之には眞玉と同流派の僧侶や佛工等の反對があつたが、公麻呂を支持する行基大僧正は「盧舍那佛は即ち高天原の大御神である」と斷じ、公麻呂も敢然として自說を實現して鑄造に取かつた。然るに大佛造營を自己の政治的爭鬪に利用しやうとして居る橘、藤原の氏族は策略を弄して、佛敎徒にはたらきかけ、その陰謀の爲めまたも造營は頓挫した。公麻呂は發きにたわかね、

5月28日

△曾我兄弟の復讐(建久四)△片桐且元卒す(元和元)△地久節祝賀の始(明治七)△ノモンハン附近に外蒙機約百機飛來、わが軍聽戰四十二機を擊墜(昭和一四)

その日〳〵

○
大なる河の流れの末を見るものはあるが、その源を探るものは少い
西洋俚諺

講談 夜嵐お絹 [78]

悟道軒圓玉
筒井直衛畫

岩淵鐵平 談判

「これは岩淵先生只今勘助を差出しましたが」
「委細は承つた、近頃浪人は富家と見ると押寄せ金錢を強請いたす、さりとは不屆至極、懲しめた上、追つ拂ふ、不埒至極、富家を何んと心得て居る、御主人の背後には此の岩淵鐵平の居ることを知らざるか」
「先生茲で威張ればとて相手は退散致しません」
「左樣、これより彼等を懲らしめてつかはす」
と岩淵鐵平は門人を連れて店に出ると、悠々と煙草を燻らして居る武士二人、バッタリ顏を合したが鐵平ビックリした、是は驚くも當然、大崎の別莊で此の人々の爲め打ち据わらされた上、淨蓮寺の本堂の柱にくゝりつけられイヤモウ酷い目に逢つてゐる、鐵平に取つては大の毒虫、酒井豊之助は岩淵を見て
「オー、岩淵か、好い所へ出て來たナ」
「其後は失禮いたしました、番頭の勘助より貴殿のお出でになつた事を承りましたが、穏かにして頂きたいものでございます」
「我々は暴れる為に参つた者ではない、外國人を打ち拂ふその軍費を借用するが目的、早速五百金差出せ、但し金は出せぬと云ふか」
「まア、お待ち下さい、酒井先生、五百兩は大金、甚だ勝手を申すやうでございますが百兩差出しますがそれでお笑ひ下さいまし」
「默れ、當家の主人は不正の利を貪り居る旨それは先刻番頭にも申聞けたが不忠の國賊、誅伐を加ふべき者なれども寛大なる慈悲を以て生命は助けつかはす、さすれば其首代として五百金差出して宜しからう」
「暫らくた控へ下さい、質の悪い奴があるものだナ一体茲の主人が大層な品物を落したから斯んな事もわき起る、不調法至極、トハ言ふものゝ、俺もあのとき二歩二朱入つて居た紙入れを落した」
「岩淵、何を申して居る」
「暫くそれにて御休息下さい」
岩淵は源兵衛に此の事を告げ、
「是は町奉行に訴へる事は成りますまい、彼等を追拂ふ手段として役人に訴へれば貴下が外國人に刃劍を賣り込んだ事も露顯いたします、藪を叩いて蛇を出す事にも成りませう、見込まれたが災難、茲は五百兩御損なさい」
言はれて源兵衛も考へた、惡い事をしてゐれば法律の保護、依つて此の難場を切り拔ける事は出來ぬそこで五百兩出す事にした。此事を聞いた酒井豊之助とそこに坐つて居た唐人龜を呼び
「コレ龜」
「甘く行つたぞ、今茲に五百兩現はれるぞ」
「そいつは有りがてわ、誰だそゝから半分額を出して見てゐるは、儉約の獄門のやうに半分出してゐるせ、思ひ切つて全然出せ、何だと思ふ、憚りながら拙者は羽田の住人、唐人龜之助藤原の岩成と云ふんだ、サア早く金を持つてこい?」
と奥か覗いて居る者を叱りつけた。
傾て塗盆へ二十五包を二十包積み重ねて持つて來た番頭の勘助に岩淵鐵平、勘助は此の金を酒井豊の前に差置き、
「主人は不在でございますが、岩淵先生共相談致しまして御軍用として仰せの如く五百兩お渡し申します」
豊之助は其金に目を通し
「五百兩あるか、一應檢めるぞ」
とブツリ〳〵と封を切る、バラ〳〵とそれへ出たは二歩金、今は金に銅を加へてあるが江戸時代の通貨は金に銀を加へてある、それですきら鋭い光澤がある、ピカ〳〵と光つた、飛び上つた唐人龜
「酒井先生此の金はみンな使へますか」
と云つた、酒井はアハと笑つたが
「確實に使へるぞ」
「有る所には有るものだわえ、わつちア二十二兩より上の金は持つた事が無ね」
へエー、これで五百兩、惡いことをするも無理は無ね
と龜は金に見惚れてゐる

銃後の護り……先づ健康から
如何にして難病を征服すべきか
磁氣放射 マグネタイザー
工學博士藤山常一先生發明 世界七ヶ國專賣特許
適應症 高血壓、中風、神經痛、ロイマチス、胃腸病、痔、肋膜炎、婦人病、小兒痲痺、蓄膿症、喘息其他
種々の療法を試みても捗々しくない御方はスグ度御試驗して下さい。從來の電氣の如くピリ〳〵する不快な感じは絶對になくお台物の上から誠に氣持よく、しかも大衆向料金で叮寧に治療致します。
午前八時より午後九時まで
(毎月第一日曜休業)
平市二丁目三十一番地
(元專賣局跡)
最低の料金 最高の效果 主義
平磁惠院

內臓外科
レントゲン
胃腸
性病
內臓外科 整形外科 脳脊髄病科 外科 放射線科 理學療法科
醫學博士 松村亨
內科 胃腸病科 性病科 皮膚科 泌尿器病科 肛門病科
醫學得業士 松村鐵郎
平市南町 松村醫院 電話一〇七

開院
內科、小兒科
正木醫院
醫學博士 正木信功
六丁目(五丁目交番前) 電話四三九番
入院隨意

これは便利!
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
(美)マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一一

春から夏へ
都會……町……村……
國民歌 暁に祈る
流行歌 蛇姫の歌 新妻鏡
浪花節 妻 米若 母 雲月
洋樂ハ輕音器、ダンス曲
ビクターラヂオ 一二五、〇〇
コロムビアラヂオ 九五、〇〇
平市五 電話一九五
金光堂時計店 蓄音器部

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、建具、ベニヤ板、木羽、便利瓦、建築木材一式
(カ)織田材木商店
福島縣平市 電話平四六〇番
製材工場 磐越東線赤井驛前 (大作場二五) 電話二三五番

初夏の味覺
とんかつ專門の店
興亞の祭を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町 (電話四六五)
かの家

漢方くすりは 生公華
肋膜炎 氣管支炎 關節炎 神經痛 肺炎 ロイマチス
皇漢藥と一生公華
◎皇漢藥を愛するは國民の用務なり、國産愛用の今時輸入藥は成る可く遠避け漢藥に眞念を持つは人世百年の生命なり。
◎本藥生公華は[illegible]
福島縣平市五町目角
山野邊藥局
治淋新劑 アミトール主劑 六一〇七號

五月人形
皇紀二千六百年の端午の節句!!!
銃後の護りは家庭から家庭の護りは兒童愛護の精神から
◎勇ましい武者人形
◎鯉のぼり
◎甲冑具足類
御子樣の節句を盛に致しませう。
菅野屋肥料店 祝品部
平市四丁目(電話一五九番)

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
入院隨意
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎

ラヂオシンター原液
本品ノ應用範圍ハ頗ル廣汎ニシテ靈妙ナル偉効ヲ有スルト共ニ複作用ハ絶無ナルハ他藥ノ追從ヲ許サズ特ニ病的細胞ヲ破壞、熱性疾患ニ對スル解熱作用ヲ爲ス故ニ肺結核、肺炎、喘息、蓄膿症、胃腸病、腎臓病、神經衰弱、熱性疾患、産前産後、動脈硬化症ニ奇効ヲ奏セルコト八多年各種病者諸彦ニ御試用ヲ請ヒ奏効顯著ノ定評ヲ受ク
醫學博士萩原良一先生推奬
ラヂオシンター原液 六百瓦入一週間分 金四圓
福島縣石城郡草野村大字泉崎字中島四九
取次販賣所 鈴木賣藥部
振替口座東京四五七二七番

男女 車掌募集(三名)
1、年齢十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社 平、四倉乗合自働車
平四丁目 電五九四

月曜論談　市民と時の觀念

事變下の國力推進に精神的方面へのタクトを振る運動が、改組劈頭の翼賛會業として今後に於ける興亞奉公日に就て實踐第一主義の指導方針をとり大にその精神を强調することになつた處から觀て、日に稱ふる時局的お題目が極めて立派なるに拘らず、その實際が往々掲ぐる如きお說宜に添はぬ場合あることが、假令その分量は稀薄にせよ今や一般的傾向なるを推知出來るが、この緖の弛みは不幸親愛なる我が平市民の上にも何かにつけて看取さるるを時局柄頗る遺憾とする。之を最近の一例に徵するも、一昨二十五日市公會堂に催された新舊平驛長の送迎會が開會定刻の五時に發起側を除いて一人の出席者が無かつたことと及び去る二十三日の行事を周知せしむる回章が旣に期日經過後の昨二十六日に於て平然と形式一遍の回送が行はれた町内があつた如き全く呆然たらざるを得ぬ幾多の實例によつて其のだらし無さを露呈して居る。一体公會堂の會衆の如きは子供や女を對象とする興行ものなどを除き常に市でも略ね上層に屬する所謂知識階級の場合が多く、此種現象の刷新改善に就ては率先その範を垂れねばならぬ階層として自ら任するの士がルーヅ其の物を云ふ『タヒラ時間』の非時局的惡慣例から脫せず、漫然貴重な時間を空費するの愚は少くとも重大時局に深く思を潛め前線を偲ぶ銃後民の即刻改めねばならぬ處である。次に之亦常習として自他ともに敢て怪しまぬ回章の遲着は前記實例の如く期日の經過後に於て往々事前周知の目的を逸し得ぬ不都合を生じ其間種々の支障を結果する場合が少くない。此外例示すれば數限もないが其の多くは共同責任として罪の歸着點が曖昧な處から急速の改善が困難なわけであるが時代はそうした緩漫をゆるさず、須く有機的の相關觀念に目醒め個々責任ある出所進退をむ

けふぞ三十六年目

日本海上曠古の大捷を記念して　戰時下市內各所の行事

事變下にめぐり來たけふの第三十五回海軍記念日は憶ひ起す明治三十八年のこの日と同じく晴れ天氣晴朗、國民感激の波も高く平市でも『我が艦隊は戰術上最も冒險な敵前回頭によつて有利の陣地を占め爾來優速を利用して常に敵の先頭を壓しつつ並行作戰を取り』日本海上激戰凡そ四十分物の見事に敵艦を殲滅した！皇軍の大捷を記念し行事は明二十八日に及ぶ

滿堂の血は躍る　竹下中佐の講演

上海の陸戰隊長として白襷隊長の名に豪膽無比の武勳を謳はれた竹下宣豐中佐の講演は今二十七日午後七時古河炭礦分會に於て、明二十八日は午前十時から磐中午後七時から市公會堂に於て開催武人特有の熱辯に聽者の血を沸かせる

磐女

正木校長の全校生徒に對する記念講話あつた後子鍬倉、飯野八幡の兩縣社及び忠魂碑を參拜、皇軍の武運長久を祈願し、戰歿勇士の慰靈を捧げ、明二十八日は夏井川の堤防から夏井村の海岸に遠足する

平商

午前八時から草野方面へ全校生徒のマラソン競走を行つた

第一　左記の通り全校生徒の遠足會を催した　1市內平窪系の內鯨岡　2飯野村白土八幡　3好間村、愛谷　4飯野村立澤山　5內郷村宮、好間村上野原　6夏井村海岸、高12赤井村萬盛堂

第二。午前九時から校庭に於て小運動會

第三。午前八時から同上競技會

第四。記念式、菅波校長の講話、强行軍

行け海の若武者よ　けふ入團兵の壯行會

市では海軍入團兵のため今二十七日の記念日をトし午前十時から縣社子鍬倉神社で武運祈願祭を執行終つて公會堂に茶菓だけの簡素な壯行會を說き菅沼老市長の激勵の辭など大いにその前途を祝福した

へ送る外午後五時から松ケ岡公園忠魂碑前で記念式典後谷口樓で簡素な祝賀會を催し當時海戰に參加した古武者をかこんで座談會

武運祈願祭　來月一日兩縣社で

市では近く發送する前線將兵への慰問袋に子鍬倉、飯野八幡兩縣社の御神符を添へることとなり來月一日午前八時から兩縣社でこれが武運祈願祭を執行する

鄕軍海軍部

市鄕軍海軍部では既報の如く代表者が關係出征家族を歷訪慰問の上元氣な家族達の姿をカメラに收めて現地

春繭の輸送に當局萬全の布陣　來月一日懇談會で連絡

春繭の輸送はガソリン不足で大きな惱みとなつてゐるので縣では生産者並に購入者側と來月一日平市に繭輸

防空展開く　けふから月末まで

既報、來月上旬行はれる今年度第一回防空訓練を前にして一般に防空の重要性を强調せんとする縣主催の防空展覽會は今二十七日から月末まで平署會議室に開いてゐるが參考品多數、毎日午前八時から午後五時まで一般の來觀を歡迎する

精神敎化　遺族美談を募る　市で軍國の母を物色

市では軍事保護院が戰歿者遺族の精神敎化を目的に發行する『軍國の母の姿』に揭載の遺族美談集を左記により來月十日まで方面委員軍人遺家族身上相談人の手で取纏めることとなつた

(イ)今次事變戰歿者父、母ニシテ一家融睦一意家門ノ維持顯揚ニ努ムルモノ特ニ日露戰役等ニ於ケル戰歿者寡婦ガ子ヲ父ト同ジク君國ニ捧ゲタルニ不拘確固タル信念ヲ以テ家業ニ精神スル美談ヲ選擇スルコト

(ロ)前項ノ外戰歿者遺族美談ニシテ勤勞精神ヲ涵養振作スル上ニ於テ特ニ遺族一般ノ龜鑑ト爲スニ足ルモノ

。。。。。。。中堅農民現地講習

石城中堅農民男女子部一同は來月一日高久村で二毛作の現地講習を行ふ

現交通量から觀て北に乘降口必要　歷代驛長も實現に努力

學平及び城山、平窪方面關係で今驛現在の乘降約數の利用關係を有する北口乘降口設置の計劃は曾て時の鈴木代議士により內田鐵相時代に於て稍々具体化の域に入り乍ら惜くも其の儘となつて居るがこの今に殘された交通懸案は、其後漸次繁激を加へつつあるその方面の交通量から觀て歷代驛長も深き關心を拂ひ、一日もはやくその實現を期し百方手配を續けてゐる當面の問題で今回水戶驛長に榮轉した立枝驛長の祖道宴席上に於ける別離の辭にも之が實現を見なかつたのが心殘りである！とあり、該計劃は大工町、城坂踏切りの改修と共に後任者に目的達成のバトンを引き繼がれ永井現驛長もその方針を踏襲して極力實現を圖るものと見られてゐる

憧れの地に旅して　京都にて　磐女見學團通信

京都―私共の憧れの夢をのせて東海道線をひたむきに胸の中を――。始めての長の旅に眠りも忘れて皆四方山の話に耽つてゐる。「京都」と云はれて驚いた位だつた、七條直に遊覽バスに乘り西本願寺、東本願寺、三十三間堂、淸水寺、智恩院、平安神宮、金閣寺嵐山を拜觀した最後に大井川のほとりに緣深き嵐山三十六峯を背景として紀念撮影をした。一同益々元氣大勢、正午に五條の辨慶樓についた、今迄の事皆面白いたのしい事ばかりでした

平市慶弔錄

△出生　禰宜町一六齋藤榮氏長男隆一君

○婚姻　橫濱市鶴見區潮田町二、〇〇二白土正隆氏(二七)と八幡小路五七若松リンさん(二五)、研町一九箭田三郞氏(三〇)と研町一九志賀梅子さん(二九)、禰宜町一六齋藤榮氏(二四)と四倉町本町一二八猪狩トミ子さん(二五)

▲死亡、三丁目三九金成照君(二六)

軍配は平第一に　小學兒相撲大會成績

平商業主催小學兒童相撲大會は昨二十六日同校相撲場で尋、高に分れ行はれたが參加は平第一、第三、湯本の三校で尋高とも平第一軍配があがつた

△團体(高)1平第一2湯本(尋)1平第一2平第三

△個人‖高1佐藤(平第二)2山野邊3佐藤‖尋1山木(平第一)2山野邊3大槻

取調べに一段落　唖男山口送局さる　數々の盜みも判明

春宵の街々に恐怖の渦をまき起した娘斬り犯人の容疑者、飯野村南白土地內洞窟に巢喰ふてゐた變態唖男山口忠(二六)＝赤井村西小川字數軒に生れ＝は去月九日檢擧以來引續き平署に留置、菊池部長係りで取調べられてゐたが愈よ一段落を告げ丸五十日目で明二十八日身柄を送局されることとなつたが平、內郷二ケ所の分を剃刀で傷けたことが判つたもので四倉の犯人はその人相などから見てどうやら別犯人らしいと、なほ今年一月から四月上旬までやらかした次の空巢ねらひの數々も女物ばかりねらひ、これは市內南町飲食店高砂屋外に賣却した

△市內古鍛冶町女訓導佐々木ソノさん方から衣類四十點、現金など三百圓分

△市內舊城跡竹輪ヨシノさん方から衣類十餘點(三十圓)

△草野村泉崎丹野ヒサきん方から衣類、書籍など二十餘點三十圓分

△市內大室賀澤庄次郞さん方から衣類十餘點二十圓

△同下平窪諏訪神社奧殿から日本刀一振と紫の幔幕、この外平附近から雜白米など數件

大原博士歸鄕賦　贈

珠雲　小野務平

刀圭至寶萬人推
鬼病研鑽心眼開
波來何唯廣聞見
歸朝博得盛譽來

陣中を聽く　(771)

今し大陸に立って責務の重大を思ふ

市內研町出身　小野五郎君（通信）

謹啓益々御健勝の段奉大賀候。陳者小生出發の際一方ならぬ御厚情を辱ふしたる段只々感激の至りにて深甚の感謝の意を表する次第に候。お蔭様を以て無事××の上一路恙なく任地に到着の上きさらもの有之候。日々軍務に精進致し居り候間他事乍ら御休心下され度願上候。任地は晝は暑く夜は寒しの特殊の氣候にて凌ぎ難きもの有之候。今や我が大陸に在つての任いや重くその責いや大なるを痛感すると共に感激の思ひ出は次から次へと盡

只此上は一意任務に精進し以て各位の御厚情の萬分の一にも酬うる覺悟に御座候間今後とも宜しく御鞭撻の程伏して悃願致し候先は取り敢えず御禮旁々御挨拶まで如斯に御座候　草々敬具

現地にも春

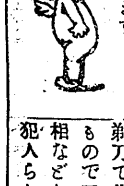
古鍛冶町出身　佐藤信枝君

謹啓時下陽春の候益々御清榮の段祝福致します。度々御慰問に預かり終始變らず御勵援下されました事は厚く御禮申上げます。私もお陰様にて無事元氣にて任に服し居りますから御安心下さい。銃後の皆々様の御努力に吾々共として何とも感激の外ありません。愈よ精勵致す樣努力する有様です。當地も暮らしく相成り草花も咲き亂れて戰闘後の大陸の廣野を潤ほして居る事には何とも感慨無量の有樣です。

忙しく暮す

市內立町出身　鈴木清君

御一同樣には何事も御變り御座いませんか、小生其後益々頑健にて目下最前線の警備に奮闘致し居りますれば御安心下さい。前線の事で敵を目前に見て勤務(略)日々多忙な日を送つてゐます。市長樣はじめ御一同樣の御健康を祈ります。



二十八日　(小名濱測候所調)　滿潮前一〇、一五　後七、三五　干潮前二、二五　後二、三五

舊四月二十二日　火曜　辛未　先勝　滿　尾宿　新五月二十八日

▲一白　考へ過ぎて理に陷り實行に遠ざかり行く日▲二黑　器用に任せ餘分な小策をすれば失敗すべし▲三碧　今日終りを告げさる事は企つべからざる日▲四綠　目上に頼り長上に聞きて獨斷を戒むべき日▲五黄　やりくり工風事は損する恐れあり自重せよ▲六白　積極に進めば大吉ふはへの事には大凶なる日▲七赤　企つる事小なるも追々大なるものと成べし▲八白　勞多く功少きも後日の爲めと勵むべきこと▲九紫　苦み去り何となく氣の晴れ晴れと働ける日

ダイペンヤ付　ウエル萬年筆　二、〇〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店　魁文堂　電話三一三

酒ト　マヅイ　おでんの　榮ちゃん
平市田町花ノ里　電話三三三番

五月人形
二千六百年を强調する　尚武日本のお節句!!!
▼勇ましい武者人形▲
▼鯉のぼり▲
▼甲冑類▲
各種豐富に取揃候
平市二　フタタヤ祝品部

內臟外科　泌尿器科　レントゲン科
北川外科
醫學博士　北川芳夫
◎入院隨時　平市新川町〔電四六四番〕

御婚禮、御會食、御宴會
尙は季節料理
平市紺町　電話一七一番
さかき家　料理部
女中さん數名至急入用〔優遇致します〕

音が生命　ビクターラヂオ
5R15　¥125
テレビアン　ナショナル　ビクター　代理店
富永ラヂオ店　〔電四九六〕

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）